

国民平和行進が大分県入りしました

7月2日13時から佐伯市宇目町のJR重岡駅前で、原水爆禁止09年国民平和行進の宮崎県から大分県への引継が行なわれました。

引継ぎ集会に79余名が参加

引継ぎ集会に両県から70余名の人々が参加し、宮崎県行進団を代表して佐藤誠宮崎県革新懇代表世話人が「宮崎県内の行進は昨年を上回る参加者があった。核兵器廃絶への期待が大きくなっている表れだと思う。訪問した19の自治体で全ての首長が国際署名に賛同した。」などと挨拶のあと、横断幕や団体の「通しリレー旗」を大分県側に引継ぎ、大分県実行委員会代表世話人の阿部峰子県労連議長が「核兵器のない世界をめざして、大分県内を元気に歩き通します。」と決意を述べ、佐伯市をめざして、県内1日目の行進が出発しました。

足立さん(86歳)今年も元気に行進

1日目の行進では、佐伯市内入口で毎年建交労佐伯支部の仲間が行進団を待ち受け、出迎えてくれます。今年も86歳になられた足立正美さんが、仲間6人と待っておられ、行進の終点大手前公園まで約3キロを元気に歩きとおしました。

男子中学生2人が一緒に行進、署名も

佐伯市内を歩いているとき、男子中学生2人が「一緒に歩いていいですか」と声をかけ、行進団の後ろにくっついてしばらく行進しました。別れ際に「署名お願いできますか」と署名板を出したら「未成年でもよければしますよ」と署名していきました。また、JR上岡で休憩しているときに、家の人の迎えを待っていた女子高校生に署名をお願いしたら「核兵器はなくなって欲しいと思っている。頑張ってください」と署名しました。

宮崎～長崎コース通し行進者の紹介

今年宮崎～長崎コースの通し行進者は、神戸市の出身の松浦宣孝さん(60歳)です。松浦さんは、コープ神戸を昨年停年退職し、昨年兵庫県の県内通し行進を行い、今年初めて幹線コースである「宮崎～長崎」を歩く決心をしたのだそうです。

コープ勤務時代は、生協は国民平和行進とは別に「市民行進」を行っており、国民平和行進とは共同を拒んでいたため、国民平和行進に参加するのが「ゆめ」だったのです。退職を機に、「晴れて」国民平和行進に参加できたものです。